

製品名: TAF5L ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18621**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	66kDa

抗原情報

遺伝子名	TAF5L
別名	TAF5L; PAF65B; TAF5-like RNA polymerase II p300/CBP-associated factor-associated factor 65 kDa subunit 5L; PCAF-associated factor 65 beta; PAF65-beta
遺伝子 ID	27097.0
SwissProt ID	O75529
免疫原	抗血清はヒト TAF5L 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 291-340

背景

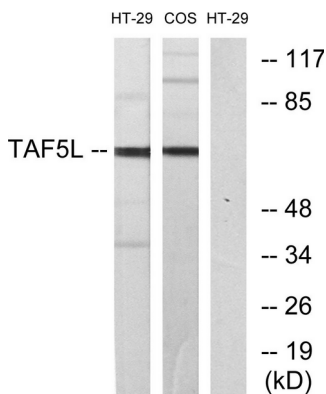
この遺伝子産物は、WD リピート TAF5 ファミリーのタンパク質に属します。この遺伝子は、PCAF ヒストンアセチラーゼ複合体の構

成要素であるタンパク質をコードします。PCAF ヒストンアセチラーゼ複合体は、20 以上のポリペプチド（その一部は TAF）で構成されており、筋原性の転写と分化に必要です。TAF は、基礎転写に関与し、コアクチベーターとして機能し、プロモーター認識に機能し、または一般的な転写因子を修飾して複合体の組み立てと転写開始を促進します。コードされるタンパク質は、ヒストン様 TAF の1つである TAF5 と構造的に類似しています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能：PCAF 複合体の構成要素として機能します。PCAF 複合体は、ヌクレオソーム内でヒストンを効率的にアセチル化することができます。PCAF 複合体は、酵母 SAGA 複合体のヒト版と考えることができます。類似性：WD リピート TAF5 ファミリーに属します。類似性：6 つの WD リピートを含みます。サブユニット：PCAF 複合体は、TAF5、TAF5L、TAF6、TAF6L、TAF9、TAF10、TAF12、PCAF などの多数の TBP 関連因子（TAFS）、および TAD2L/ADA2、TAD3L/ADA3、SPT3 などの PCAF 関連因子（PAF）で構成されています。STAGA 転写共活性化因子-HAT 複合体の構成要素であり、少なくとも SUPT3H、GCN5L2、TAF5L、TAF6L、SUPT7L、TADA3L、TAD1L、TAF10、TAF12、TRRAP、および TAF9 で構成されています。

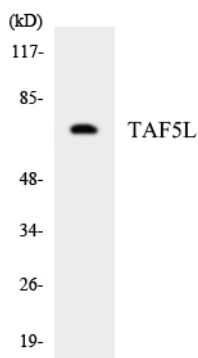
研究分野

基礎転写因子;

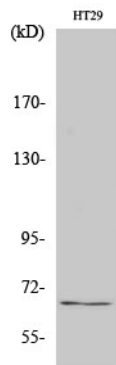
画像データ



TAF5L 抗体を用いた HT-29 細胞および COS7 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



TAF5L 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



TAF5L ポリクローナル抗体を使用したさまざまな細胞のウエスタンブロット分析。